

ざ・ちゅうおう ぷれす

2016年3月号 第85号

図書館ホームページ（パソコン） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp>

（携帯） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>

「ざ・ちゅうおう ぷれす」は、世田谷区のホームページでもご覧いただけます。

発行：世田谷区立中央図書館

世田谷区弦巻3-16-8

TEL 3429-1811

FAX 3429-7436



「言葉と音楽が旅をする」～文字・活字文化の日記念事業～
中江有里さんの朗読と園田涼さんのピアノ演奏
3ページへ



「図書館夜のコンサート」
バイオリニスト・永井由里さんの
躍動感あふれる演奏
（平成27年10月）



↑
アンドリュー・デュアーさん
「本は楽しいだけじゃない
～読書から得るもの～」
4ページへ



「世界のことで読み聞かせ」（中央図書館おはなしのへや・平成28年1月）
日本語、英語、中国語、韓国語、オランダ語で絵本の読み聞かせ

中央図書館カレンダー

3月							4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30		

開館時間

火～日 10:00～19:00

月・祝・休日 10:00～17:00

■ は、世田谷区立中央図書館休館日です。

（5月19日から25日までは
特別整理期間のためお休みです）

■ は、17時に閉館です。

THE SETAGAYA CENTRAL LIBRARY PRESS

東京農業大学図書館

世田谷の活字拠点を訪ねて・3

中央図書館から歩いて15分ほど、世田谷通り沿いに東京農業大学（以下、農大）世田谷キャンパスがあります。今年創立125周年を迎え、渋谷区（今の青山学院大学があるあたり）から現在の場所に移転して70年になる、歴史ある大学です。

『食と農』の博物館や「大根おどり」で有名な収穫祭（学園祭）に行かれた方も多いと思いますが、今回は新しくなった図書館取材しました。

正門を入り直進すると、まもなく見えてくる新しい建物が「農大アカデミアセンター」です。農大アカデミアセンターは、2014年にオープンしたばかり。9階建てで、3～7階が図書館になっています。図書館のほかにも、キャリアセンターやエクステンションセンターが入っている建物です。



農大アカデミアセンター外観



図書館入り口。ここで利用申込を行います。

農大ですから当然、農業・農学に関する専門資料がそろっています。蔵書数は約55万冊。

これだけの蔵書がありますから、世田谷区立図書館で持っていない資料もたくさんあります。そうすると気になるのは、「農大生じゃなくても使えるの？」というところ。

農大図書館では、「広義の農学関係資料」の館内閲覧利用に限られていますが、15歳以上で、健康保険証や運転免許証で世田谷区民であることを確認できれば利用することができます。具体的なタイトルがわからなくても、「バイオテクノロジー関連の本」や「ガーデニングの本」といったテーマでの利用申請も可能とのこと。



3階のメインカウンター。自動書庫の資料請求はこちらへ。



自動書庫。青いコンテナが、整然と収められています。

●自動書庫●

中央図書館は、地下2階に保存庫がありますが、農大図書館にも書庫があります。今回の取材では、特別に普段入れない書庫を見せていただきました。

農大図書館の書庫は、最大約50万冊を収容でき、本を入れたコンテナを機械が自動で出し入れします。3階のカウンターで希望のあった本の出庫指示を出すと、その本の入ったコンテナを機械が自動的に地下から運び出してくれるようになっています。

●実学^{もり}の杜●

農大アカデミアセンター1階には、展示スペース「実学^{えのもとだけあき}の杜」があります。農大の創始者・榎本武揚、初代学長・横井^{よこいときよし}時敬にまつわる展示や農大の歴史・現在の取り組みが紹介されています。

図書館のような手続きは必要ないので、ふらりと立ち寄って見学できます。

このコーナーの見どころのひとつは、流星刀(りゅうせいとう)です。これは、榎本武揚が隕鉄(金属でできた隕石)を使って作らせた刀で、世界的にも数の少ない貴重な刀です。本物は貴重資料として保存されており、展示をされているのはレプリカとのこと。



創設者 榎本 武揚

榎本武揚
幕臣。政治家。
戊辰戦争では江戸幕府海軍を率いて、蝦夷地で明治新政府に抵抗した。釈放後、明治政府閣僚として活躍。
1891年に農大の前身である徳川育英会育英農学校を設立。



初代学長 横井 時敬

横井時敬
農学者。
駒場農学校農学校(今の東京大学農学部)を主席で卒業。農学校教諭や東京帝国大学農学部教授を経て、1911年に農大の初代学長に就任。

これから桜の季節ですが、農大の構内にも桜の木があり、図書館内からも満開の桜を見ることができます。大学構内には、入試などで入れない時期はありますが、その期間を除けば、自由に入ることができます。

利用案内など、詳しいことは農大図書館ホームページをご覧ください。

東京農業大学図書館

〒156-8502

世田谷区桜丘 1-1-1

ホームページ <http://library.nodai.ac.jp/setagaya/>
アクセス

小田急線経堂駅 徒歩15分

千歳船橋駅徒歩15分

東急バス・小田急バス「農大前」下車すぐ

休館日

日曜日および祝日、大学が決めた休業日(入試期間等)



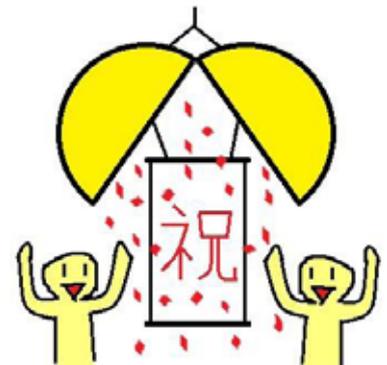
ついに、まちかど図書館が電算化されます！

4月から名称も変わります。

これまで、松沢、池尻、野毛、希望丘のまちかど図書館は、紙の貸出券で本を貸し出すレトロな図書館でしたが、平成28年4月から区立図書館とネットワークで繋がります。これで、「世田谷区立図書館共通利用カード」で利用できる場所は、図書館16館、図書室5室、図書館カウンター2ヶ所となります。

また、名称も「〇〇まちかど図書館」の「まちかど」を取り、シンプルに「〇〇図書館」になります。

ますます便利になる図書館を、これからもどうぞご利用ください。



知らないことに出会う場所～言葉と音楽が旅をする～

中央図書館 図書館司書実習生の報告

昨年11月15日、平成27年度文字・活字文化の日記念事業「言葉と音楽が旅をする」が成城ホールで開催された。イベントは、女優・作家の中江有里氏とピアニスト・作曲家の園田涼氏をお迎えし、3部構成で行われた。

第1部の園田氏によるミニコンサートでは、「裏切り者たち」や「ロマンス」などのオリジナル曲から、The Beatlesの「Yesterday」やショパンの「幻想即興曲」のモチーフを基にしたアレンジまで、ピアノソロで全7曲が演奏された。初めて耳にするオリジナル曲に引き込まれたようにステージを見つめる参加者や、知っている旋律に合わせて体を動かす参加者の姿が見られた。



第2部の中江氏による朗読・ミニトークでは、『アジアおいしい話』平松洋子著（筑摩書房）、『終業式』姫野カオルコ著（角川書店）、『人生とは勇気一児玉清からあなたへラストメッセージ』児玉清著（集英社）の3冊が朗読され、それぞれの本にまつわる中江氏のエピソードも披露された。ミニトークでは、共演のあった故・児玉清さんとの思い出について語った。参加者たちは、時に笑い、時に真剣に耳を傾けていた。

第3部では、中江氏の朗読に合わせて、園田氏がピアノで即興演奏を行った。朗読された本は、『エルニーニョ』中島京子著（講談社）、『辺境・近境』村上春樹著（新潮社）、『ティンホイッスル』中江有里著（角川書店）の3冊。「旅」をテーマに中江氏と園田氏が選んだこの3冊は、全く異なる毛色をしており、園田氏は中江氏の声や朗読されている作品に寄り添うように、それぞれの作品を音として聴き手に印象付ける即興演奏を行った。参加者たちは、朗読される物語の情景を浮かべながら、2人のコラボレーションに聴き入っているようだった。

小さい頃から音楽をやっていて本も大好きな私にとって、このイベントは始まる前からとても楽しみなものだった。実際、当日は音と物語に溢れた充実した時間をいただいた。だが、何よりも「自分の知らない面白そうなものたち」と出会えたことが嬉しかった。私は普段あまりエッセイを手にとらない。だからこそ、『アジアおいしい話』や『辺境・近境』といった面白そうなエッセイを知ることができたことが、新鮮で嬉しかったのだ。

参加者のなかには、本には興味があっても、音楽にはそこまで触れたことのない人、逆に、音楽は好きだが、本を読む習慣がない人もいただろう。あるいは、友達に誘われて来ただけで、本当はどっちにも興味がない人もいたかもしれない。その人たちにとっては今回のイベントが、私よりも多くの「自分の知らない面白そうなものたち」に出会える場所だったのかと思うと、羨ましい。

本や雑誌、新聞といった活字の資料、そして、それらを提供している図書館は、今回音楽と結びついたことから分かるように、何とでも結びつく可能性を持っている。イベント後、図書館の利用案内を真剣に読む参加者の後ろ姿に、私はその可能性の大きさを感じた。図書館に足を運ぶきっかけは、人それぞれだ。今回のイベントをきっかけに図書館に行くようになった人が、何に興味を持ったのかは分からない。朗読された本かもしれないし、即興演奏かもしれない。いずれにしても、知らなかったことに出会い興味を持つということは、それをもっと知りたいという欲求につながり、図書館へ足を運ぶという行動を起こさせる。だから、今回のように「自分の知らない面白そうなものたち」と出会える場を、様々な形で提供していけば、図書館は今よりも多くの人たちに開かれた場所となるのではないと思う。



立教大学文学部4年 藤原 真以子

本は楽しいだけじゃない～読書から得るもの～ 「世田谷区家庭読書の日」記念講演会 12月12日(土)午後・教育センター「ぎんが」

世田谷区では、毎月23日を「世田谷区家庭読書の日」として、講演会の開催や標語の募集・発表などを通して、家庭での読書活動の普及・啓発に取り組んでいます。

今年度は講師に、東海学院大学教授のアンドリュー・デュアーさんをお招きしました。「本は楽しいだけじゃない～読書から得るもの～」と題して、読書が子どもへ与える好影響などを、ユーモアあふれるお話を交え、講演してくださいました。最後には紙ヒコーキ作家でもある講師の指導の下、全員で紙飛行機をつくり、飛ばしました。



*講師の論文はこちらから（家読.com サイト内。PDF ファイル）

⇒http://uchidoku.com/htdocs/?action=common_download_main&upload_id=2478

平成27年度世田谷区家庭読書の日の標語が決まりました！！



今年度は合計888通の応募があり、その中から最優秀賞、各部門の優秀賞が選ばれました。表彰式（左写真）は12月12日に行われ、受賞者に表彰状と記念品をお渡ししました。受賞作品は、ポスター・しおりなどに使用しています。しおりは、世田谷区立図書館で配布中です。



優秀賞 中学生の部 何 逸華さん
優秀賞 小学生以下の部 廣木 拓斗さん
優秀賞 一般の部 高木 仁美さん
最優秀賞 高野 美波さん



(上) ポスター（「おとうさんはウルトラマン」宮西達也作絵（学研）より）
(左) カラフルなしおり（在庫僅少）

「子ども読書の日」記念講演会

中央図書館では、4月23日の「子ども読書の日」を記念して毎年講演会を開催しています。今年は、「さる・るるる」（絵本館）、「きんぎょがにげた」（福音館書店）などでおなじみの五味太郎さんです。

日 時：4月16日（土）午後2時から3時30分

会 場：教育センター3階「ぎんが」

対 象：小学校4年生以上 先着120名

*申込方法など、詳細は4月1日発行の区のおしらせ「せたがや」、ホームページ、ちらしをご覧ください。



『わにさんどきっ
はいしゃさんどきっ』
五味太郎作絵（偕成社）



新着図書案内



『コロボックルの世界へ』
佐藤さとる 監修
(講談社)



この本には、作家の佐藤さとるさんの著書「コロボックル物語」シリーズの紹介や制作過程秘話が書かれています。1959年に第1巻が出版されてから、今でも読み継がれているファンタジーです。

現在活躍している多くの作家が、幼少期に愛読しており、とても影響を受けていることがわかります。その中の一人、有川浩さんは、著者との対談後、平成のコロボックルストーリー「だれもが知ってる小さな国」(講談社) [F1 あひ] を2015年10月に出版しました。

さあ、あなたもコロボックルの世界へ行ってみませんか？！

児童研究書【9090 こ】

『あなたの空き家問題』
上田真一 著
(日本経済新聞出版社)

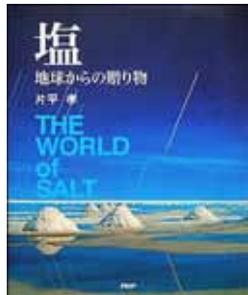


全国で空き家が増加し、新たな社会問題となる中、昨年いわゆる「空き家対策特別措置法」が施行されました。

この本は空き家問題に取り組んでいるNPO法人の代表である著者が、空き家問題の原因や発生メカニズムなどの現状と、解体や活用を含んだ管理についてまとめています。

「空き家問題」の原因の一つである、所有者と近隣との意識の違いを理解したうえで、「誰も住まなくなった実家」が「問題空き家」に変容する様を読めば、書名の「あなたの空き家問題」の意味が、きっとわかることと思います。 【3653 う】

『塩—地球からの贈り物—』
片平孝 著
(PHP研究所)



生命に欠かせない塩。本書は、世界中の塩の産地をめぐる写真図鑑です。

塩の産地は、世界に目を向けると海や湖だけではなく、岩塩鉱山や塩田のように陸地にも数多く存在します。本書ではそういった塩の現場を豊富なカラー写真を使って、旅をするように紹介しています。

また、命がけで塩をとる人の姿や厳しい自然にせまる一方、人の生活や産業にも欠かせない塩の「サイエンス」を、わかりやすく解説しています。塩のすべてを知るために最適な文献の一つであり、塩が地球からの贈り物であることを実感できる1冊です。

【6690 か】

『うらしま』
(〈現代版〉絵本御伽草子)
日和聡子 文
ヒグチユウコ 絵
(講談社)



古典文学『御伽草子』に載っている昔話を現代の作家が大胆にリメイクし、独特の雰囲気を持つイラストを添えて仕立てた「〈現代版〉絵本御伽草子」シリーズ。今作は、誰もが知る「浦島太郎」をもとに、地上に残された浦島太郎の妹の視点から語られます。

甕（亀ではなく！）を覗き込んで、不思議の国のアリスのように海の中の世界へと落ちていった浦島太郎の妹。淡々とした語り口に、ダークでメルヘンな表紙・挿画がぴったり合って、彼女の見た「竜宮城」の姿をリアルに描きます。

昔話への新たな扉が開かれることでしょう。 【F1 ひさ】

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスが 利用できるようになりました

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版などの理由で入手困難な資料約141万点(平成28年1月現在)が、中央図書館内で利用できるようになりました。

利用できる資料

- ・図書 昭和43年以前に国立国会図書館で受け入れたもの
 - ・雑誌 平成12年までに発行されたもの(商業出版されていないもの) など。
- *利用できる対象資料は、「国立国会図書館デジタルコレクション」で検索できます。

利用するには

『世田谷区立図書館共通利用カード』が必要です。中央図書館の地下1階レファレンスカウンターへ利用カードを提示してお申込みください。

- ・資料は中央図書館内の専用端末で閲覧できます(時間入れ替え制です)。
- ・複写を希望される方は、「複写申込書」に記入してお申し込みください。
- ・複写は職員がいたします。料金は1枚10円(A4白黒片面のみ)です。
- ・複写は著作権法の範囲内に限られます。(複写できない資料、部分もあります。)

レファレンス～こんな相談がありました～

★ 等々力溪谷について知りたい。

➡ 等々力溪谷は23区唯一の溪谷として有名な景勝地で、学校の行事などで訪れた方も多いかと思います。今回は小学生からの質問でしたので、まずこどもフロアで図書を探しました。『多摩川の自然とくらし』【J51 緑】に2ページにわたって説明がありました。また当館では、世田谷関係の図書を「地域資料コーナー」に集めていますので、ここでも探したところ、次の3冊がありました。

『等々力溪谷』【GA2100】

世田谷区が発行したリーフレットで、概要を知ることができます。

『等々力溪谷展』【GA4529】

世田谷区立郷土資料館で開催された特別展の図録です。航空写真、地図や各ポイントの写真などが豊富に載っています。

『東京小さな隠れ名所』【GB2100】

都内各地のスポットを紹介していますが、等々力溪谷の紹介もあります。

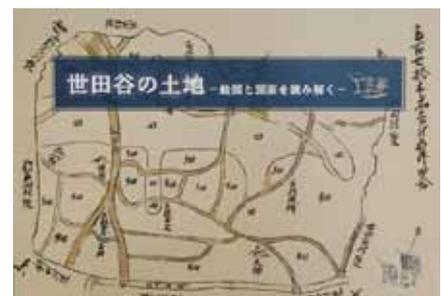
📖 新しい地域資料から

『世田谷の土地—絵図と図面を読み解く—』

世田谷区立郷土資料館編集(平成27年10月刊)

特別展の図録です。世田谷区の近世の絵図から戦前の区画整理までの地図が収められています。弦巻村の国絵図(天保7年)では、今の弦巻神社のところにある稲荷社を確認することができます。

眺めているだけで楽しくなる地図好きにはたまらない本です。【GA2100】



区立図書館では、障害などにより図書館の利用に不自由のある区民の方に「障害者サービス」を行っています。そのサービスの一つに、主に視覚に障害のある方への「対面朗読サービス」があります。

◎対面朗読サービス◎

図書館でご希望の図書や雑誌などを準備し、朗読の読み手である音訳ボランティアが図書館内の対面朗読室でそれを読みます（右写真）。1週間に1回2時間。

ご利用は無料ですが、最初に障害者サービスへの登録が必要です。



中央図書館の対面朗読室。このような形で、朗読を行います。

【お願い】

- 朗読する資料は、図書館が所蔵する図書や雑誌・新聞などです。お手紙や通知書、取り扱い説明書などの私物を朗読することはできません。
- 音訳ボランティアは、図書館に常駐していませんので、サービスを利用する際は、お近くの図書館に事前にご相談ください。
*音訳ボランティアは、普通の朗読とは違い、写真やグラフ、地図、表などを、目の不自由な方にわかるようにお伝えする特別の技術をお持ちです。

図書館で行っている障害者サービスや対面朗読サービスについては、お近くの区立図書館にお問い合わせください。

編集後記

今回、東京農業大学の図書館取材しました。たくさんの学生が利用する大学図書館ということで、閲覧スペースが「談話可能エリア」や「静寂エリア」などに区切られていました。私が通っていた大学の図書館は一人で静かに勉強や調べものをする場所だったので、談話スペースがあるのが新鮮でした。

昨年10月のことになりますが、表紙に掲載の「図書館夜のコンサート」を図書館で初めて開催しました。新人としてもこのイベントが初めての大仕事だったので、ドキドキして本番を迎えたのですが、想像を超えるたくさんの方のご来場に驚き、そしてホッとしました。今まで図書館を利用していなかった方が、来館するきっかけになれば嬉しいです。来年度もこのようなイベントの開催を考えていますので、是非お越しください。(I)